



「ペットボトルの水」—水道水と比べる

味・値段・安全・環境への影響 板橋区立西台中学校環境科学部
顧問／佐藤大将先生 他◎12月6日



1. 味の比較…この結果にみんな驚き

利き水番号	1の水	2の水
おいしいと思った人数	11人/15人 73%	4人/15人 27%
どこの水か	学校の前にある公園の水道水	ストアで買った仏の水1L約100円

参加人数/生徒 12人 + 先生方 3人 = 15人で集計

2. 値段の比較 水道水 / 1L 0.298 円、仏(フランス)の水 / 1L 100円位(店による)、仏の水の値段は 335 倍

3. 安全検査数の比較 東京都の水道 / 基本項目 51 + 留意項目 27 = 計 78 項目、輸入水 / 15 項目(殺菌・滅菌しない輸入飲料、天然水)、水道水の検査数は 5.2 倍

4. 環境への影響 ①容器の放棄による自然破壊 ②生活費の無駄—水道の水を飲まずに、外国産の水を買って飲む ③外国からの運搬によるCO2 排出の増加—温暖化が進む

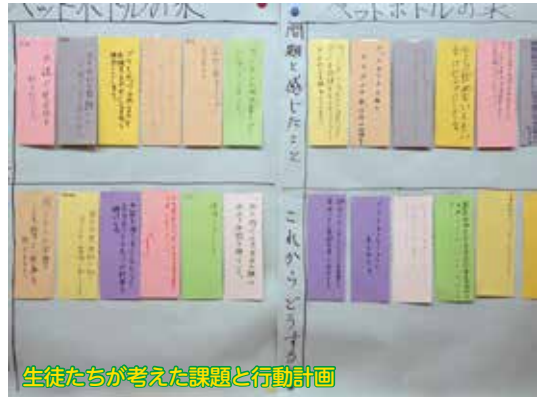


顧問佐藤先生(右)より「水道水の大切さ勉強になったね」

5. 水はだれのものか 水は日本では公共財(みんなの財産)として、明治時代から各自治体が管理し、住民に提供。ペットボトルの水の費用を見るとその費用は、ボトル費用・運送費・包装費・小売店の手間費・汲み上げた会社の経費などで占められ、中身の水代はゼロ円、ペットボトルの水はだれかが汲み上げ、売っている

生徒の感想・意見 利き水で水道水の方がおいしいと感じたのにびっくり… 5人 私たちが飲める水があればほど少ないので、大事にしよう ペットボトルのリサイクル率が少ない、ペットボトルのごみ問題を友達に言ってみようと思った 水道の安全性を知ってほしい、なるべく水筒を使う、水の大切さと、ペットボトルの水を買うことのデメリット 水を無駄にしない、出しっぱなしにしていた水を止めたい 運搬によって出るCO2のことは考えたことがなかった

佐藤先生より「利き水からスタートしたため、全生徒が興味をもって授業に取り組めた。授業の資料が詳しく、生徒が水やペットボトルの問題を世界的規模で考えることができた。流れ、内容ともに身近なテーマなため、親しみが持てた。水を飲む際の環境への影響を考えるきっかけとなった。ペットボトルのごみも海洋プラスチック問題になるため、生活の飲料を変えていきます」



生徒たちが考えた課題と行動計画

SOE NEWS

No.190

2023年

1月

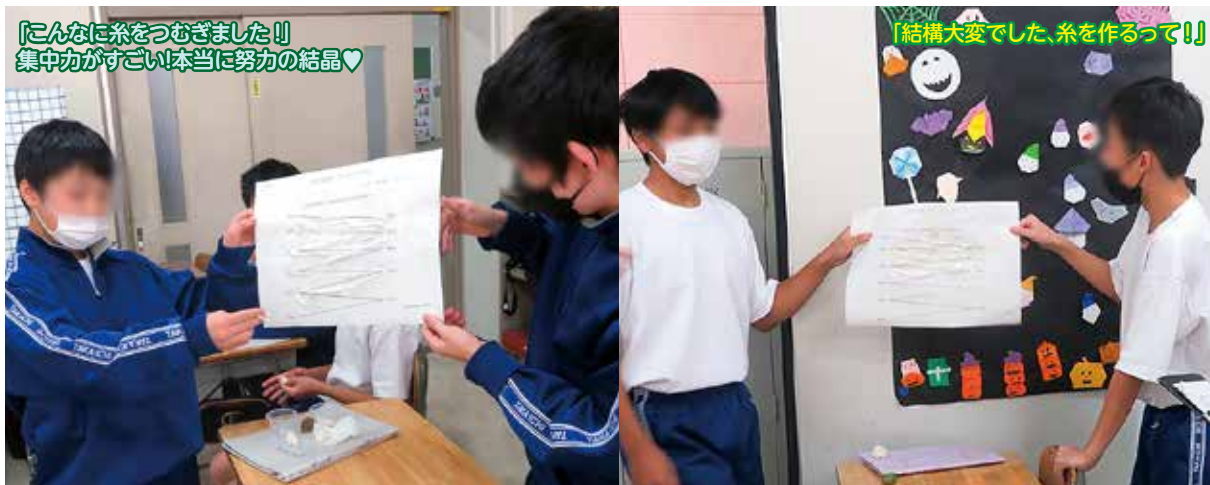


センスオブアース
市民による自然共生
パンゲア

平成27年度地球温暖化防止活動
環境大臣表彰受賞団体

ふわふわ～板橋区内の小中学校で綿を栽培！

板橋区立高島第一中学校◎5組7年～9年生 11人◎12月9日



高島第一中学校は、今年
は綿だけでなく大豆も
栽培し、これから、収穫
した大豆で「みそ」も作
ります。どちらも栽培を
成功させたなんて、畔上
陽介先生はじめ、先生
方の熱い心、生徒の素
晴らしい集中力を指導
され脱帽でした。



収穫しました!! 「自分たちで収穫したワタから糸をつむごう」

板橋区立高島第五小学校◎3年1組32人◎11月24日



「みてー、ぼくたちの糸すごいでしょ?」



「引っ張り方がむずかしいよ」「おさえるから引っ張って」

子どもたちの発見・驚き・感動》☑糸を作るのがむずかしいことが分かった ☺ポリエステルを着ているのを知らなかった ☑石油から糸を作れると知って驚いた ☹昔の人はこれを一人でするなんてすごいと思った ▼日本で綿を作っているんじゃないって、びっくりした



わたの中に種がたくさん、強くくっついてる

これからどうする?》☺できるだけ植物からできている洋服を着ようと思う ☑日本でもっと綿を作る ☺家族で買い物するとき、タグを見てから買う(原料を知る) ☑種を取るのがおもしろかった ◆ちょっとだけ長く糸ができてよかった ☹洋服を大切にす

先生より「綿から作ることにとても興味をもち、取り組んでいた。児童が育ててきた、観察してきた綿を使っていたので、とても身近に感じられたと思った。グループやペアで声を掛け合い、協力して活動することができた。環境への関心はとても高まったと感じた。今回の学習を通して、地球環境や安心・安全を意識して生活して欲しいと思う」



「すぐ綿がとれる! この機械、べんりだね〜」



「ほら、2メートルくらい糸ができたよ」



「風とながよし」冬の風はよく回る

板橋区立赤塚新町保育園◎5歳児 18人◎11月16日



「さあ、どうぞ! いざ、回すぞ!」

☑カミトンボ飛ばし
が
おもしろい ☑あ
まり飛ばないが
おもしろい ☆紙
芝居面白
かった ☺まわ
したり飛ばす
のがおもしろ
かった



保育園の広い屋上は 風車にピッタリ

先生方より「屋上で風が止まると回らない、風が吹くと回る。走ると、もっと回るなど、身近な風を肌で感じ、



作り方をよく聞いている

風の強弱を風車を通して知ることができた。楽しいし、風というものを学ぶことができた。



カミトンボ飛ばしみんな飛んだ!

発表者に拍手をしたので、発表への自信、意欲になっていた。周りの子も聞く姿勢ができた」

「イチヨウの木の精キロリのふしぎないのり」

板橋区立中台小学校あいキッズ 葉っぱでお絵がき(季節もの)
1・2年生中心 19人参加◎11月28日



イチヨウの葉っぱで、好きなものを画用紙に作り上げます。

「チョウ・タンポポ・魚・小人・キツネ・ヘビ・花など」

☑キロリのおにごっこ、初めてやっておもしろかった ☺紙芝居がおもしろかった ▼イチヨウの葉っぱで作れて楽しかった



タンポポかわいいね



イチヨウの精の話
「キロリのおにごっこ」
学生スタッフによる
読み聞かせに集中する

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp